

誤

【補足説明1：「補正係数による割増」について】

土木工事標準単価は施工方法等により、補正係数（K1、K2、…、Kx）による割増が適用される場合がある。補正係数の種類は工種により異なるが、週休2日の補正と補正係数による割増を同時に適用する場合は以下の補正式で補正済み単価を算出する。

$$\text{補正係数補正後の土木工事標準単価} = \text{週休2日補正後の土木工事標準単価} \times (K1 \times K2 \times \dots \times Kx)$$

土木工事標準単価の補正係数補正済み単価の端数処理は、小数点第3位切り捨て2位止めとする。

土木工事標準単価の補正について以下の市場単価を用いて計算例を示す。

名 称：区画線設置（溶融式）
規 格：昼間 豪雪無 実線15cm 制約無
単 価：216.9 円
※上の例は令和7年3月の東京単価

1）補正係数による割増なし

週休2日の補正（完全週休2日（土日））のみをおこなう場合を示す。

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（溶融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	216.9

↓ 1.02 倍

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（溶融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	221.23

$$\text{週休2日の補正後単価} = \text{補正前単価} \times \text{週休2日の補正係数}$$

$$= 216.9 \times 1.02$$

$$= 221.24$$

$$= 221.23 \text{ 円} \quad \text{※小数点第3位切り捨て2位止め}$$

正

【補足説明1：「補正係数による割増」について】

土木工事標準単価は施工方法等により、補正係数（K1、K2、…、Kx）による割増が適用される場合がある。補正係数の種類は工種により異なるが、週休2日の補正と補正係数による割増を同時に適用する場合は以下の補正式で補正済み単価を算出する。

$$\text{補正係数補正後の土木工事標準単価} = \text{週休2日補正後の土木工事標準単価} \times (K1 \times K2 \times \dots \times Kx)$$

土木工事標準単価の補正係数補正済み単価の端数処理は、小数点第3位切り捨て2位止めとする。

土木工事標準単価の補正について以下の市場単価を用いて計算例を示す。

名 称：区画線設置（溶融式）
規 格：昼間 豪雪無 実線15cm 制約無
単 価：217 円
※上の例は令和7年3月の東京単価

1）補正係数による割増なし

週休2日の補正（完全週休2日（土日））のみをおこなう場合を示す。

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（溶融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	217

↓ 1.02 倍

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（溶融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	221.34

$$\text{週休2日の補正後単価} = \text{補正前単価} \times \text{週休2日の補正係数}$$

$$= 217 \times 1.02$$

$$= 221.34$$

$$= 221.34 \text{ 円} \quad \text{※小数点第3位切り捨て2位止め}$$

誤

2) 排水性舗装に施工する場合の補正有り

週休2日の補正（完全週休2日（土日））をおこない、かつ補正係数による割増をおこなう場合を示す。

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（熔融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	216.9

↓ 補正

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（熔融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	232.29

※補正係数による割増は、排水性舗装に施工する場合の補正係数の1.05を適用する場合とする。

週休2日の補正後単価 = (補正前単価×週休2日の補正係数) ×
(排水性舗装に施工する場合の補正係数)
= (216.9 × 1.02) × 1.05
= 221.23 × 1.05 ※小数点第3位切り捨て2位止め
= 232.29 円 ※小数点第3位切り捨て2位止め

正

2) 排水性舗装に施工する場合の補正有り

週休2日の補正（完全週休2日（土日））をおこない、かつ補正係数による割増をおこなう場合を示す。

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（熔融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	217

↓ 補正

No	名称・規格	単位	数量	単価
1	区画線設置（熔融式） 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	人	1	232.40

※補正係数による割増は、排水性舗装に施工する場合の補正係数の1.05を適用する場合とする。

週休2日の補正後単価 = (補正前単価×週休2日の補正係数) ×
(排水性舗装に施工する場合の補正係数)
= (217 × 1.02) × 1.05
= 221.34 × 1.05 ※小数点第3位切り捨て2位止め
= 232.4 円 ※小数点第3位切り捨て2位止め

備考